

2 発達特性のある子ども・若者の「自己認知」の支援

他の人と同じようにできない、こだわりが強くて周りの人とトラブルを起こしてしまう……。発達特性が起因した二次的な問題（不登校、ひきこもり、非行、うつ、強迫症状等の精神症状など）で生きづらさを感じてしまい、中には重症化し困難な状況に陥るケースもあります。

本人が自身の発達特性を理解しつつ自分の弱みや強みを把握していく「自己認知」は、社会生活を送っていくうえでどのようなメリットがあるのでしょうか。

(1) 発達障害者支援センター

発達障害者支援センターは発達障害の早期発見・早期支援を目的とし、発達障害の診断の有無に関わらず本人やその家族から相談を受けています。

平成18年に開設以来、乳幼児から小中高・大人まで相談者は年々増加、平成27年に880人になりました。それ以降は800人前後で推移しています。

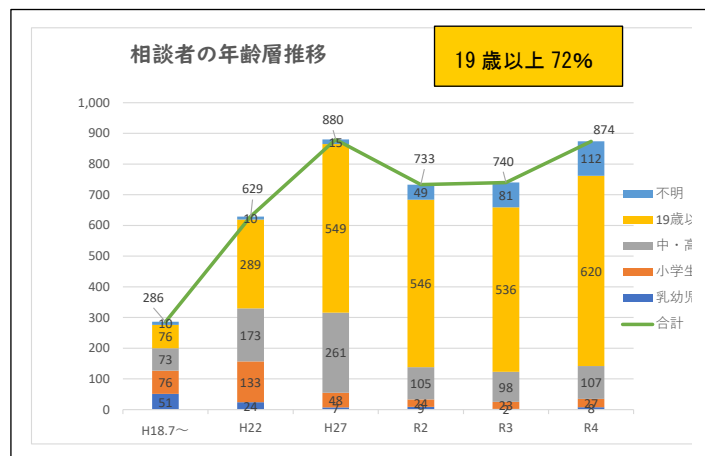
現在は主に青年期以降を対象に相談を受けています。乳幼児・学童期は市町村の発達相談の窓口や児童相談所で対応しています。

【身近な地域の相談窓口】

障害児（者）のいろいろな相談、福祉制度をはじめ、各種福祉制度の利用に関する相談は、市町村が第一義的な窓口になっています。

<https://www.pref.gunma.jp/page/2815.html>

こころの健康・病气・発達障害に関する市町村の相談先は巻末の連絡先をご覧ください。



① 発達障害者支援センターでの相談内容

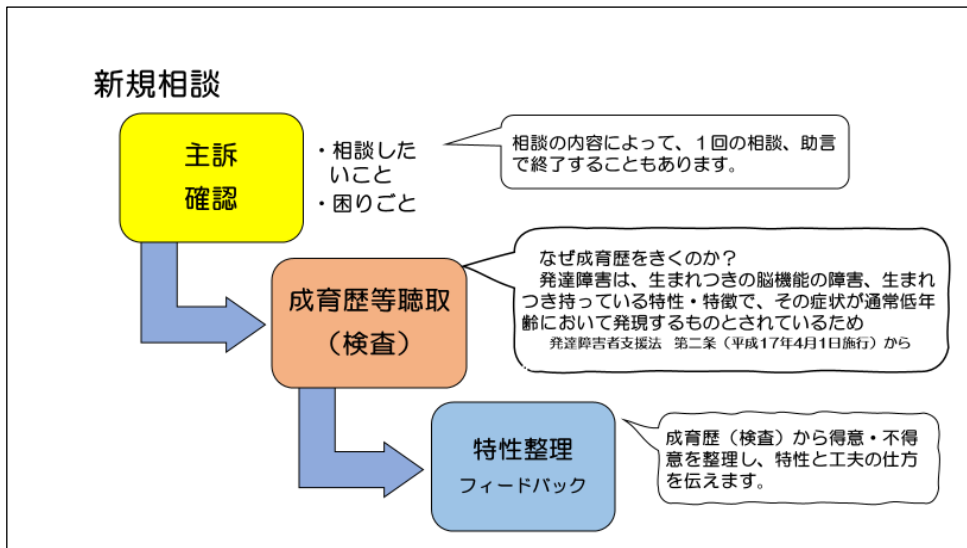
家族の方が心配して相談されることが多く、大人になり本人が気付いて相談される場合もあります。相談内容は、家族にできる支援、困難な状況の改善・支援方法、自分が発達障害かどうかを知りたい、就労・進学に関することが多くなっています。

相談内容例		
高校・大学・専門学校	就 労	生 活
<ul style="list-style-type: none"> 勉強が苦手が進級や卒業が危うい レポートや卒論が書けない、提出し忘れてしまう 先生、友人、先輩後輩との関係が上手くいかない 実習が上手くいかない 学校に行けない 就職活動がうまくいかない 卒後の生活が不安 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事で注意をされてしまう 仕事が続かない 複数のことが同時にできない ミスが多い 指示を忘れやすい 優先順位をつけられない 同僚、上司との関係が上手くいかない 体調を崩しがち 理不尽に思うことが多い 転職が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 生活スキル（家事・移動・体調管理・金銭管理など）の困難 子育てがうまくいかない 人との接触を避ける、ひきこもる 暴言、暴力 親亡きあとの心配

学生の時期は勉強が苦手が進級や卒業が危うい、レポートが出せない、学校に行けないといった内容、就労している場合は仕事が続かない、複数のことが同時にできない、ミスをしてしまう等で相談に来ています。家族は、長くひきこもり状態が続いていると、将来の不安を訴えることもあります。

② 相談支援の流れ

新規相談は電話で予約をしていただきますが、お話を伺ったうえで、より適切な他機関にご案内する場合があります。来所時あらためて相談内容を確認し、本人を理解（生まれつき持っている特性特徴）するため、生まれてから現在までの様子、成育状況やエピソードなどを聞かせていただきます。

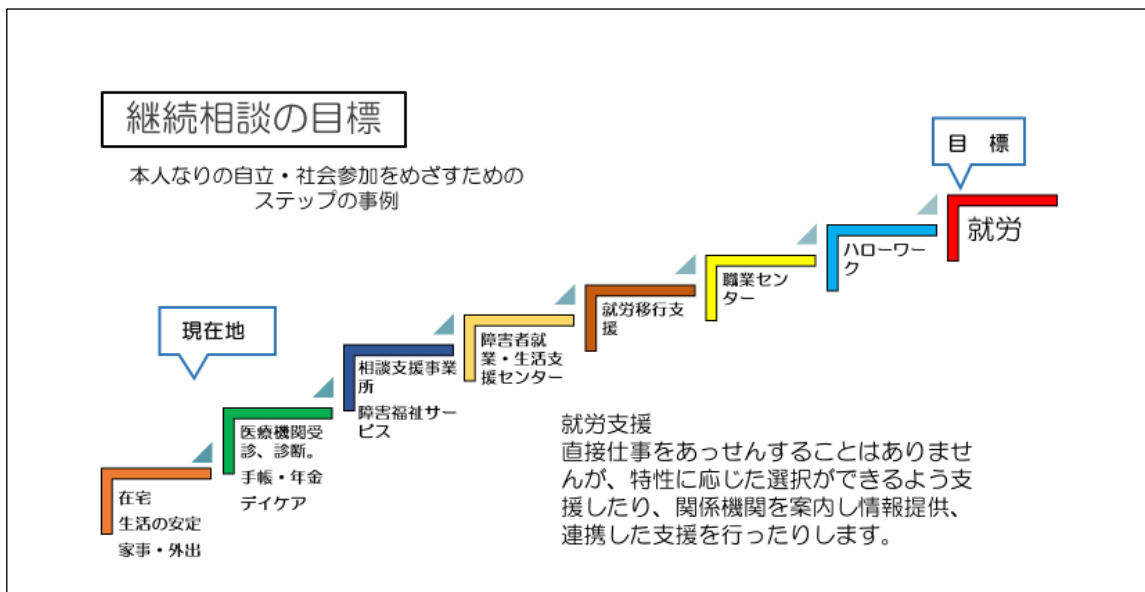


その情報だけでは特性を十分に把握できない場合は、心理検査等を行い、客観的な情報を収集します。特性を整理した上で、本人や家族にこんな得意な部分がある、苦手な思っていることがあるかもしれません、こんな工夫をするとよいですと伝えます。

自分の特性がわかって相談を終了される方もいますが、困りごとへの対応を一緒に考えていきたい希望があれば継続相談として、来所していただき生活状況の確認や相談を受けています。

③ 目標に向けたステップの支援

人によって目標は異なります。例えば「就労」を目指す場合、その方の状況に合わせ支援センターで連携している機関を、選択しながら利用していく方もいます。現在地がどこで、目標をどこにするかによって相談する内容やステップが違ってきます。相談者の方が支援センターや関係機関と関わり、支援を受けながら、得意・不得意の自己認知を高め、得意を活かした自立・社会参加ができることを願っています。



【発達特性がある子ども・若者の社会的自立支援ガイド（前編）】

このガイドは、発達障害の診断の有無に関係なく、発達のある本人やその御家族が抱える悩みや不安・心配に対して、【乳幼児期・学齢期】における支援情報を中心にまとめました。

身近な地域の保健センターや児童発達支援センターの役割、小・中学校における支援対応、児童相談所の役割等を紹介しています。

<https://www.pref.gunma.jp/page/200377.html>

